熊本県知事賞

植物でわたしだけの色紙作り② 紙から作る！

宇城市立小川小学校　5年1組　垣原　柚花

〔研究のきっかけ・目的〕

わたしは昨年、色々な植物を使って紙をそめ、色紙を作る研究を行った。思った色にならなかったり、上手くそまらなかったりと大変だったが、最後はなんとかきれいなガラの色紙を作ることができた。そして今年は、紙から自分で作ってみたいと考え、自分だけの色紙作り第2弾として研究に取り組むことにした。最後は自分で作った紙を自分で作ったせん色液でそめて、自分だけの色紙を完成させることを目指す。

〔研究の方法・予想〕

※この他、研究を進める中で新しく思いついたことなどについては追加実験を行う。

①色々な木材で紙をすき、どの木材が1番紙をすきやすいか、しっかりした紙を作ることができるのかを調べる。
予想 水に溶けやすい木材が1番紙をすきやすく、なめらかできれいな紙ができるのではないか。

②上記の結果を参考にしながら、紙になりそうな色々な植物で紙をすき、どの植物が1番紙を作りやすいか調べる。
予想 ミキサーにかけた時にスムージーのようにドロドロになる植物がきれいな紙になりやすいのではないか。

③植物で作った紙を脱色し、そめてみてどの植物で作った紙が色紙を作りやすいか調べる。
予想 漂白剤を使って脱色すれば、きれいに脱色されるはずなので、昨年の研究結果を参考に植物から作ったせん色液できれいな色紙が作れるのではないか。

※1 今回の研究では"kraft"紙で、写真のものを使用しました。

〔研究の結果〕

※紙の作り方：①木材をオーブンで乾かして、それぞれ(100gにカード1枚の量)をペットボトルに入れる。②ペットボトルの3分の2(紙で切りとりたい)まで水を入れ、10時間よく振る。③容器に紙を中身のすき液に流し込み、同じ高さになるように全体を均す。④おもて型ではがし、あみ型やタオルを使って上から切り込むように、紙以外の水気をしっかりとる。⑤紙を型ごとアイロンをかけながら乾かす。

※表示方法：・すきやすさ／1～5、大きくなるほど上手にすける。・紙がやぶれる／1～5、大きくなるほど紙がやぶれる。・きれいさ／1～5、大きくなるほどきれいな紙ができる。・かかった時間／1～5、大きくなるほど時間がかかる。・きれいに脱色できる／1～5、大きくなるほどきれいに脱色できる。

①色々な木材で紙をすいてみよう！

追加実験 ①切り方を変えてみた！(小型すき枠) ②干し方を2種にしてみた！

②いざ、植物から紙を作ってみよう！

※植物から紙を作る方法＝①植物を1cmくらいに細かく切りそろえる。②ビーカーに「1」と「2」を入れて1000mlまでミキサーにかけ、ドロドロになるまでまぜる。③容器に紙を流し込んだ後、上記の紙の作り方と同じ作り方で紙にする。④ぬれた紙をアイロンで乾かす。※ぬれた紙の上にティッシュをのせるとティッシュに紙がくっついてしまうので、ティッシュはのせない。

・もともと紙は植物からできているので、ものによっては、すき上がった紙がとても紙らしくなるものもあれば、紙というよりは、ただ繊維がからまっただけのようなものまで。・紙になりやすいものは繊維が長いものが多いが、ヤツシの根、ホウライショウなどやすやすと紙になってくれたものもあった。・紙になりやすいものは、全体的にツヤがあり、光にすかすと繊維が見えるものが多かった。・逆に、ささ、ススキ、ヨシなどの繊維：ゴワゴワの茶、ベージュ系の紙になるものは、繊維が短いものが多かった。

追加実験1 くずれてしまう植物を紙にするためには？

(1)時ちょう：その1「かたく、湿ざりにくく、キメがあらい」を解決してみる。

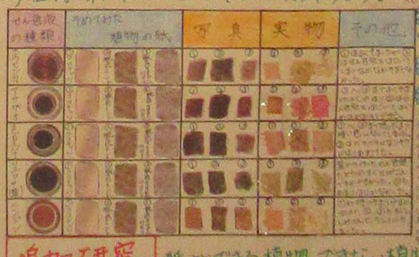
(2)時ちょう：その2「ボロボロ、バラバラにくずれてしまう」を解決してみる。

追加実験2 曲がりくねる紙をきっすぐかわかす方法を探せ！

③やっと、植物でわたしだけの色紙作り！

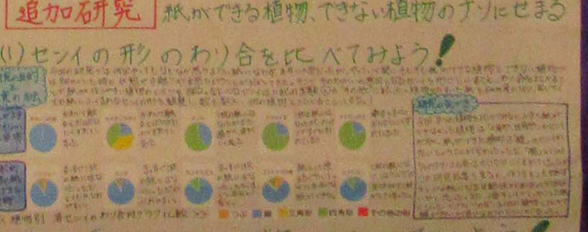
(1)まず、紙の脱色実験

(2)植物で作ったせん色液で紙をそめてみよう！

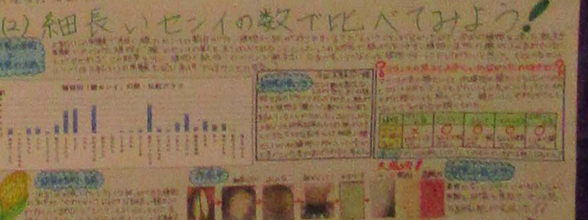


追加研究 紙ができる植物、できない植物のナゾにせまる

(1)センイの形のわり合を比べてみよう！



(2)細長いセンイの数で比べてみよう！



〔研究で分かったこと・気づいたこと〕

〔研究の課題～来年に向けて～〕